

海域強襲制圧艦ヴァルチャー、抜描す。

■__??__■

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

疲れからか、不幸にも信号を確認せずに道を渡ってしまい、地上運用型友人対人／対建造物誘導弾 通称プリウスミサイルにより絶命してしまう。

そして、神と名乗るものと出会い、曰くミスで殺してしまった。許してください！なんでもしまかせ!!との事なので、

転生等あるか、と聞くと艦これがあるようだ。

ならば行くと言い、「あ じゃあエスコンのヴァルチャーを霧仕様にした奴でお願いします」

と言う。

波乱か安寧 どっちが主人公を待ち構えているのだろうか。(無計画)

目次

1話 何時もの1日と変化

1

1話 何時もの1日と変化

ピピピピッ ピピピピッ ピピピピッ

主人公「ん、良い朝」

主人公「眠い、」

妹『にーちゃんご飯〜』

主人公「ん、」

父親『おう起きたか』

父親『最近株価やばいな』

母親『全くよ、』

主人公「あ 不味い学校遅れる」

主人公「行ってきました」

家族『いってらっしゃい』

〜〜〜学校〜〜〜

教師『OOがOOであるからして、』

主人公「zzz..」

教師『おいそこで寝てるお前 そんなに授業が退屈か?』

主人公「!」

教師『退屈で寝てるんならこの問題は分かるな?』

主人公「OOがOO故にOOかと思われます。」

教師『残念惜しいが不正解だ 次からはちゃんと聞けよ。』

主人公「うい」

〜〜〜放課後〜〜〜

主人公「アーツエ… チカレタ… チカレタ…」

主人公「アルペの、霧のコア、シングルコアでいいからあったら

なあ、」

主人公「早く続きが読みたい、」

主人公「あー、、、、」

プーー!!!

主人公「ん?」

Bannon! (大破)

主人公「ん、？」

主人公「こ→こ←は一体、」

主人公「学校から帰ってる途中、だったよな？」

主人公「、、ハイエース？」

主人公「やだ、襲われる、」

主人公「エ〇同人みたいに！」

主人公「エ〇同人みたいに!!」

？「襲わないよ!!!」

主人公「Shut the f**k up」

主人公「何事!？」

？「先に黙れって言ってから驚くスタイル 嫌いじゃないよ」

？「おっと 自己紹介を忘れてたね。」

？「私は神だ。」

主人公「は。」

主人公「中二病かな、」

紙「違うよ！私は神だよ!!!」

髪「ってなんだよこれ なんか違う!!」

神「そうだよこれでいいんだよ!!」

神「んで、だね」

神「私の裁量ミスであなたが死んじやいました」

主人公「んなこと言われたって、ん？」

主人公「(、,、ω・´)ンンン？」

主人公「脈拍が測れん、」

主人公「おろ 心臓動いとらん、え？」

主人公「??????」

神「だから言ったじゃん 死んだって」

神「そんでね? 謝罪したくてここに来てもらった訳だ。」

主人公「あつふーん」

神「許してください! 何でもしますから!」

主人公「ん? 今何でもするって? ま、考えてやるよ (高圧的)」

神「今ね? 時間止めてるんだけどさ ちよーどとある世界で艦娘建造開始されたのよ。」

主人公「艦娘、もしかして」

神「そのとーり 艦これデース」

主人公「おゝ」

神「でもこれはお詫びなので通常では送らないのよ」

神「好きな船に仕立て上げてあげる。 他の作品のネタも受け付けるよ」

主人公「ふむ、」

数分後

主人公「決まった」

神「ウツヘア：こりや凄い まさにチートの体現だね、」

海域強襲制圧艦ヴァルチャー 性能

エスコンのヴァルチャーを霧仕様にした物。

デュアルコア

タナトニウム精製機(海水に存在する極僅かなタナトニウムを濃縮し、毎日浸食魚雷5本分補給可能)

ナノマテリアル生成器(海水に存在する極僅かなナノマテリアルを濃縮し、毎日1トンだけナノマテリアルを生成する。)

艦載機

X-02S, CFA-44, ADF-11F, Su-27を合計100機運用可能+航空機にも浸食弾頭1発までなら防げるクラインフィールド装備

兵装

VLS 128セル

魚雷発射管 8

その他雑多対空砲 いっぱい

主人公「こんなもんだね」

神「うへえ、これは気が引け

主人公「何でもするって言ったよね？」

神「アツハイ 了解 ではそろそろ送るね 何か大問題があったら

またここに引っ張ってくるから 行ってらっしゃい」

主人公「ん。」

くくくく 工場・建造前くくくく

提督「明石 資材の在庫はどうだ？」

明石「大和型が6隻いてずっと出撃しても数ヶ月は持ちますね」

提督「大淀 残り何隻分ドックに空きがある？」

大淀「大和型5隻分ですね。」

提督「夕張 バーナーはあるか？」

夕張「50はありますね」

4人「オルア最大値で大規模建じゃあ!!」 ※O淀さんもヒヤツ

ハ―組です

ボオオオオオ

提督「1隻目!!!大鳳!!ようこそ!!!次!!」

ボオオオオオ

明石「2隻目!!!龍驤!!ようこそ俎板!!!次!!」

ボオオオオオ

夕張「3隻目!!!赤城!!1航戦そろった!!次!!」

大淀「四隻目!!!、うん? 128時間?」 (メガネをこする音)

他三人「ン”ン”ツ”」 (一人は眉間を抑え、一人は目をこすり、一

人は頬を叩く)

四人「????」

提督「オルア!!!28時間がどうした燃やせエ!!!」

ボオオオオオ

ヴアルチャー!!! (主人公) 「ん、あ」

主人公（やばいなんて言おう、、 シンプルでいいか）

ヴァルチャー「海域強襲制圧艦、ヴァルチャー 着任した。」

ヴァル「長いのでヴァル、とても呼んでほしい。」

ヒヤツハー組「海域強襲制圧艦？」

ヴァル「艦隊の支援及び索敵 殲滅等全てが可能とされた艦種で、」

ヴァル「本艦は超戦艦に勝るとも劣らずの性能を持っている。」

ヴァル「また、本艦は艦載機を100機程搭載でき、」

ヴァル「索敵範囲はこの半径1万キロだ 攻撃範囲も同じ」

ヴァル「一応燃料は不要で弾薬も毎日少くはあがあるが生産が可能だ。」

ヴァル「と言うわけで、よろしく願う。」

ヴァル（やばい わりと格好つけてしまった、このキャラ維持はつらいぞ、）

ヒヤツハー組「・・・」

提督「O淀 性能は？」

O淀「今見ますね」

艦船ステータス 数値	艦船ステータス 数
------------	-----------

装甲	150000	耐久	150
回避	30	搭載	100
射程	超長	速力	超高
火力	1000 (500000)	雷装	700
対空	10000	対潜	400
索敵	10000	運	34

資材に関して 資材最大消費量

燃料 0

弾薬 0

ボーキサイト 0

ナノマテリアル 0
タナトニウム 0

海域強襲制圧艦ヴァルチャー コア：デルタコア 最大索敵距離：半径1万km 最大交戦射程：1万km

兵装 20mm陽子機関砲：3基 VLS：128基 魚雷発

射艦：8門 超重力砲：8基

艦載機 X|02S：40 CFA|44：20 ADF|1

1F：30 SU|27：20

機関：重力子機関S型：120基 水上：1000ノット 水中：

80ノット サイドスラスト：50基